

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月24日（火）

2 確認箇所

5、6号敷地護岸ヤード（ALPS処理水希釈放出設備・放水立坑）（図1）

3 確認項目

放水立坑（上流水槽）点検作業の状況

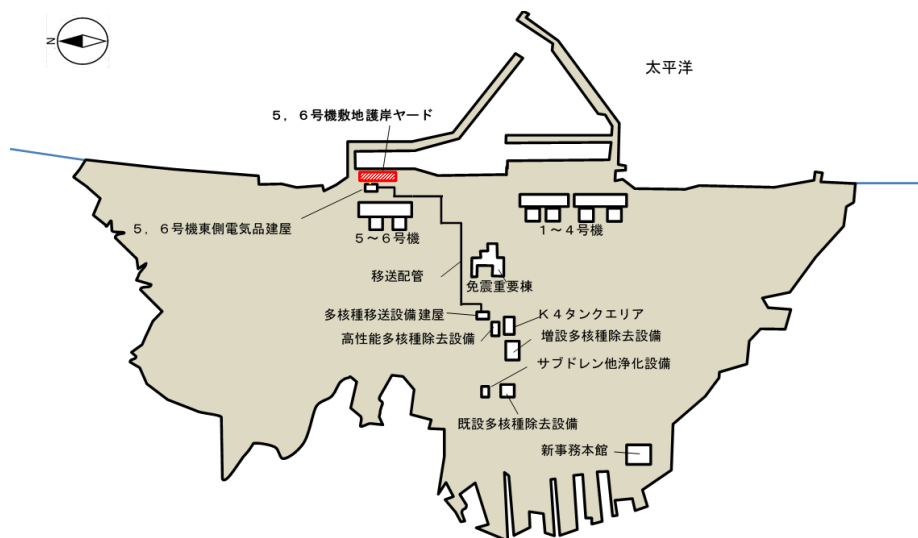
4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）は、海水でトリチウム濃度を1,500 Bq/L未満まで希釈された後、海洋に放出されている。希釈に用いる海水には貝類などの海生生物や土砂が含まれており、これらがALPS処理水希釈放出設備（以下「希釈放出設備」という。）のポンプや配管等のトラブル要因となるため、定期的なメンテナンスが必要となる。

このため東京電力では、第10回目（10月17日）のALPS処理水放出後に希釈放出設備のメンテナンスを実施している。

本日は、希釈放出設備のうち放水立坑（上流水槽）の点検作業の状況について確認した。（前回確認日：令和6年12月16日）

- ・当日は、上流水槽底部に施工された防水シートの補修作業（防水塗装に膨れのある部分の切除及び乾燥）が行われていた。また、側面擁壁接合部の防水シートが一部剥がされ、水抜きが行われていた。（写真1）。
- ・上記作業のほか、希釈に用いる海水を汲み上げるポンプ及び配管が取り外され、詳細な点検が行われていた。また、点検が終了した配管の設置作業が並行して行われていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、除去物の飛散及び流出並びに上流水槽の健全性に影響を与える損傷はなかった。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 補修作業の状況



(写真1②) 写真1①囲い部分拡大



(写真1③) 側面擁壁接合部の水抜き



(写真2①) ポンプの点検作業



(写真2②)点検後の配管再設置作業

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。